

本授業の主張点

自分たちが好きな「さが」をテーマにライトファンタジー・アートを制作して屋外に展示し、光のオブジェ実行委員会である佐賀商工会議所青年部の方に他者評価をしてもらいます。それを基に、表現のよさを思考・判断し、達成感をもって自らの学びの高まりを実感する児童の姿をお見せします。

1 題材名 キラキラすてきな佐賀の町 ～元気の出るライトファンタジー・アート～

2 題材の目標

展示されたライトファンタジー・アートを見る人が元気になるように、大好きなふるさと「さが」への思いを込めた光のオブジェを、LEDライトの光を生かして表現することを楽しむ。

3 評価規準【学力デザイン レベル2より】

- 「さが」をテーマに、見た人が元気になるライトファンタジー・アートを、LEDライトの光を生かして表現する活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。【造形への意欲・関心・態度】
- どんな「さが」を表現するかを考え、LEDライトの光を生かしたオブジェを発想し、材料や仕組みを工夫して構想することができる。【発想や構想の能力】
- 自分たちの光のオブジェに込めた「さが」への思いが伝わるように、見る人が明るく元気になるような形や色、光の効果、屋外展示にこだわって表し方を工夫することができる。【創造的な技能】
- 展示して点灯したライトファンタジー・アートを見たり、他者評価によって思考・判断したことを話し合ったりして、互いの表現のよさや思いを感じ取ることができる。【鑑賞の能力】

4 題材設定の理由

(1) 児童の実態

本学級の児童は、図画工作に対する関心が高く、材料の特徴を生かし、相手意識や思いを大切にしながら様々な題材に取り組み、意欲的に造形活動を楽しむことができる。「夏をすずしく！ウインドー・アート」では、通る人が涼しくなるように光を通すカラフルな素材で玄関ガラスを飾り、校内の皆さんに喜んでもらうことができた。この題材では、暑い夏を涼しく感じようになりたいという目的意識と通る人を喜ばせたいという相手意識を大事にした表現をすることができた。保護者による他者評価や通る人の反応により、本題材の学びで身に付けた力を実感できた。大好きな「さが」をテーマに見る人を元気にするオブジェをつくるという本題材にも、これまで身に付けてきた力を発揮し、相手意識や目的意識をもって喜んで取り組むと考える。

また、鑑賞交流を通して「学びのアルバム」を活用した自己評価・分析や相互評価・分析を経験してきた児童は、自分だけの思いではなく客観的な見方・考え方で評価や分析の仕方を学んできた。また、各題材に関わる立場の人からの他者評価を聞き、自分の表現の過程を改めて思考・判断したり、表現のよさを評価・分析したりして、自らの学びの高まりを自覚することができるようになってきている。

(2) 題材の意義

本題材は、大好きな「さが」をテーマに通る人を元気にする光を生かしたオブジェをつかって屋外に展示するという夢いっぱい造形活動である。大好きな「さが」への思いを見る人たちに発信し、見る人を明るく元気になりたいという目的意識をもって発想を広げることができる。また、LEDライトの光の効果を生かして表現した1人1人のオブジェを、大きなプラスチックボード等を使って集合体の大オブジェとし、サガ・ライトファンタジーで展示するということも、児童にとり意欲的に取り組むことのできる題材だといえる。

表現過程での仮展示の際、サガ・ライトファンタジーのお世話をされている佐賀商工会議所青年部の方に他者評価をもらうことで、相互評価・分析では感じ取ることができない価値や課題を示唆していただき、新たな表現を生み出したり表現を進化させたりすることができる。また、題材終末の鑑賞段階での他者評価では、展示したライトファンタジー・アートをもう一度佐賀商工会議所青年部の方から多様な見方・考え方で価値付けしてもらうことで、仮展示からの表現の変容を感じ取り、自信をもって自分たちの表現のよさを実感することができると期待する。

(3) 指導上の留意点（視点の具体化の側面から）

本視点では、児童自身が学びの高まりを実感することができるように、目的をもって社会に発信する表現活動を仕組み、その社会に関わる人からの他者評価を取り入れる。そこで、価値付けされたり課題を示唆されたりした表現を振り返る。以下、その関連場面を示す。

《感じる／見つめる／想う段階》

昨年度サガ・ライトファンタジーで展示された光のオブジェや全国の同様なオブジェの映像を鑑賞して、その造形的なよさ(テーマ「さが」らしい表現の工夫、見る人に与える影響、その場に与える効果)を出し合うようにする。また、光の効果がある場所や佐賀らしいものや場所を「アートウォッチング」し、そのよさを記録し、「学びのアルバム」に蓄積していく活動を、学級通信を通じて家庭にもお願いする。

ライトファンタジー・アートで表現したいオブジェのアイデアスケッチをする際、LEDライトの効果を生かすことができるような形や色、屋外に展示できる材料かを考えるよう助言する。

《表す段階》

光のオブジェの制作過程を写真に撮り、「学びのアルバム」に蓄積していくことで、自己評価・分析を自主的に行っていく、自分がどのように思考・判断してきたかをたどれるようにする。

表現途中での造形的なよさを感じ取るためにLEDライトと一緒に仮展示をしておく。ライトファンタジーの意義や屋外に展示する状況も詳しい佐賀商工会議所青年部の方に他者評価をってもらう場を設定する。サガ・ライトファンタジーのお世話をされている立場で、現段階でのライトファンタジー・アートの価値付けと課題の示唆をしてもらう。その際、展示した時のオブジェの向き、プラスチックボードへの接着の仕方等、見る人の目線や強度に児童が目を向けられるような観点を与えてもらうよう、事前に打ち合わせをしておく。それを受けて、自分たちの表現に自信と意欲をもって次の表現に進み、課題を克服するために「学びのアルバム」を活用しながら、身に付けてきた力を発揮して表現の変更や修正に取り組むことができるよう支援する。その際、友達同士での相互評価・分析も取り入れ、表現の効果や工夫、オブジェに込めた思いが伝わるかを思考・判断しながら制作していくように助言する。

《鑑賞する段階》

1人1人の光のオブジェをプラスチックボード等に飾ったライトファンタジー・アートを完成させ、屋外にしばらく展示しておく。暗くなってから撮影した画像を示した上で、夜に見立てた空間でもう一度他者評価をってもらう場を設定する。その際、表現の効果〔見る人やその場に与え効果・表現の変容(修正・進化)〕を具体的に示してもらうようお願いしておく。その後、「学びのアルバム」を活用して仮展示での他者評価と比較しながら、新たに生まれたり進化したりした自分たちの表現の変容を感じ取り、達成感をもって学びの高まりを実感できるように、鑑賞交流の時間を設ける。

5 指導計画（全7時間＋総合的学習の時間）

段階	時	主な学習活動（太枠 □ : 視点）	指導上の留意点（○） 重視する評価規準（◆）	評価
総合的学習の時間		○ サガ・ライトファンタジーの光のオブジェ制作に参加することを話し合い、佐賀の町を元気にする活動に意欲を高める。 ○ 展示するエスプラッツ周辺の様子を見に行き、夜の雰囲気想像しながら、どんな光のオブジェにしたら見る人を元気にできるかを話し合い、展示する場の写真を撮っておく。		
感じる／見つめる／想う	1	○ 屋外に展示された光のオブジェを鑑賞して、造形的なよさを考える。 ・光にてらされたオブジェがきれいだな。 ・その場が明るくなって通りたくなるな。 ・見る人の気持ちが元気になるそう。等 ○ 大きなプラスチックボードにLEDライトを使った1人1人のオブジェを飾って展示することを知り、テーマ「さが」から発想してアイデアスケッチをする。 ・どんなオブジェがあったら楽しいかな。 ・佐賀らしい面白いものを工夫したい。等	○ 光のオブジェを見る人の気持ちを考えられるように、これまで展示された光のオブジェの映像とオブジェがない映像を見せ、光のオブジェの造形的なよさ（表現の工夫、そこを通る人に与える影響、その場に与える効果）を考えるように促す。 ◆ LEDライトを使って見る人を元気にする光のオブジェをつくることに、意欲的に取り組もうとしている。 ○ どんなオブジェがLEDライトの光を生かし、見る人を元気にするのか、屋外においても大丈夫な材料は何か「学びのアルバム」を活用しながら構想するよう促す。	関

		<p>◆ どんな「さが」を表現するかを考え、LEDライトの光を生かしたオブジェを発想し、材料や仕組みを工夫して構想することができる。</p>	発
	<p>2 3</p> <p>○ LEDライトとつくりたいものに合う材料を選び、「さが」らしい光のオブジェを制作する。 ＜予想されるオブジェ＞ ・バルーン ・サガン鳥栖 ・のり ・むつごろう ・カチガラス 等</p> <p>屋外展示を考えた材料例（○印は中心材） ○針金 ○ペットボトル ・木片 ・セロハン紙 ・アルミ箔 等</p> <p>○ 仮展示をし、感じ取った表現のよさを「学びのアルバム」に記録する。</p> <p>【自己評価・分析】 造形的なよさ（表現の工夫、通る人や場への効果、込めた思いの伝わり方）を感じ取る。</p> <p>4 ○ 仮展示をし、暗所に置いて感じられる表現の効果を他者評価をしてもらい表現の価値と課題を知る。※他者評価①</p> <p>【他者評価①を通じた鑑賞交流】 ・明るい光がバルーンから透けて見えて、とてもきれいと感じてもらえた。 ・佐賀らしさが伝わるようなものにするには、もっと何か印象的な色がいいな。 ・形を工夫したので目立つのはよかった。でも、丁寧に接着しないと屋外においているうちに壊れそうだ。 等</p> <p>5 ○ 表現を修正したり、新たに工夫したりすることを決め、「学びのアルバム」に記入し、光のオブジェを完成させる。</p> <p>6 ○ 飾り付けよう材料を組み立て、光のオブジェを飾り付ける。 〔・全員の光のオブジェが引き立つか。〕 〔・屋外でも外れない接着の仕方か。〕 〔・集合オブジェとして表現できたか。〕</p>	<p>○ 制作の見通しがもてるように、最終的に飾り付けるプラスチックボードを見せる。また、飾り方や組み立て方を話し合い、どのように設置するか等の見通しを立てておく。</p> <p>○ 材料によっては接着が難しいため、材料の制限をする。また、屋外でも強度のある接着剤としてホットボンド等を紹介する。</p> <p>◆ 光のオブジェに込めた「さが」への思いが伝わるように、見る人が元気になる形や色、光の効果にこだわり表現を工夫することができる。</p> <p>○ 仮展示を鑑賞して自己評価・分析する観点として、光のオブジェの造形的なよさ（表現の工夫、通る人や場への効果、込めた思いの伝わり方）を示す。仮展示では強度も見るため、しばらく展示してから他者評価をしてもらう。</p> <p>○ ライトファンタジーの意義や屋外に展示する状況も詳しい佐賀商工会議所青年部の方に他者評価①をってもらう場を設定する。その方から多様な見方・考え方で、光のオブジェの価値付けと課題の示唆をってもらう。</p> <p>○ 自分たちの表現に自信と意欲をもって次の表現に進み、課題を克服するために「学びのアルバム」を活用しながら身に付けてきた力を発揮して表現の変更や修正に取り組むことができるよう支援する。その際、鑑賞交流を通じた友達との相互評価・分析も取り入れ、表現の効果や工夫、オブジェに込めた思いが伝わるかを思考・判断しながら制作していくように助言する。</p> <p>○ それぞれの光のオブジェのよさが引き立つような飾り方ができるように、飾り付け用材料の組み立てや接着の仕方を共に工夫していく。他者評価①での助言を思い出すよう促す。</p> <p>◆ 光のオブジェに込めた思いが見る人に伝わり元気になるように、他者評価①を基に、形や色、強度にこだわり、表現を工夫することができる。</p>	技
鑑賞する	<p>7（本時）</p> <p>※ 完成したライトファンタジー・アートを屋外に展示しておく。</p> <p>○ ライトファンタジー・アート点灯式を行い、込めた思いを発表する。</p> <p>○ 佐賀商工会議所青年部の方に鑑賞してもらい、仮展示との比較を含めて他者評価をってもらう。 ※他者評価②</p> <p>【他者評価②を通じた鑑賞交流】 評価してもらったことを聞き、自分たちの表現がどう受け止められたかを話し合う。</p> <p>○ 題材を振り返り、どのような学びができたか、評価と表現の変容をたどって自己評価・分析をする。</p> <p>※ 後日、ライトファンタジー・アートを展示場所（エスプラッツ周辺）に設置する。</p>	<p>○ 数日間屋外に展示し、暗所で撮影しておく。</p> <p>○ 仮展示の表現との比較を通じた他者評価②により、ライトファンタジー・アートの表現の効果を商工会議所青年部の方に話してもらう。尚、光の効果がわかるように始めに点灯式を行う。 〔・前回と比べ、通る人や場に与える効果はどうか。〕 〔・表現の変容（修正・進化）は見られるか。〕</p> <p>○ 学びの高まりを実感できるように他者評価②により価値付けられたことを基に、造形的な表現のよさ（表現の工夫、通る人や場への効果、込めた思いの伝わり方）を鑑賞交流する場を設定する。</p> <p>◆ 展示して点灯したライトファンタジー・アートを見たり、他者評価によって思考・判断したことを話し合ったりして、互いの表現のよさや思いを感じ取ることができる。</p>	鑑

6 本時の指導（本時 7/7）

(1) 目標

展示して点灯したライトファンタジー・アートを見たり，他者評価を基に思考・判断したことを話し合ったりして，互いの表現のよさや思いを感じ取ることができる。【鑑賞の能力】

(2) 展開

本時：視点

学 習 活 動	教師の働きかけ (○) 形成的評価 (◆)
<p>1 「学びのアルバム」を活用して仮展示での他者評価を思い起こす。その上で，完成したライトファンタジー・アートを鑑賞し，佐賀商工会議所青年部の方にもう一度他者評価してもらうことを知る。</p>	<p>○ 強度を見るために，ライトファンタジー・アートを数日間屋外に展示し，光の効果がわかるような画像を撮っておく。本時は室内を暗くし点灯式を行う。</p> <p>○ 仮展示で他者評価してもらった造形的な表現のよさ（表現の工夫，通る人や場への効果，込めた思いの伝え方）を「学びのアルバム」を活用して想起するよう促す。</p>
<p>ライトファンタジー・アートを鑑賞して，見る人を元気にする形や色のよさ，光の効果を見つけよう！</p>	
<p>2 「ライトファンタジー・アート点灯式」を行い，代表児童が光のオブジェに込めた思いや表現の工夫を発表する。</p> <p>3 仮展示と比較しながら他者評価してもらい，自分達の表現の価値を知る。</p> <p>(1) 仮展示からの変容点を中心に，他者評価してもらい，それを「学びのアルバム」に記録する。</p> <p>(2) 他者評価を通じた鑑賞交流をする。</p> <p>①付箋紙に造形的な表現のよさ（評価の3観点）を記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>黄→表現(形・色)の工夫 青→見る人や場への効果 赤→込めた思いの伝わり方</p> </div> <p>②生活班で，付箋紙交流をする。</p> <p>③新たに気付いた造形的なよさを「学びのアルバム」に記録する。</p>	<p>○ 光のオブジェに込めた児童の思いを理解してもらった上で，他者評価の場を設定する。評価者である佐賀商工会議所青年部の方には，本時の展示だけでなく夜間に展示していた時の映像も見てもらい，光の効果についてもふれてもらうようにする。また，屋外で数日間展示していたことを伝え，強度も見てもらい，他者評価の観点を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 前回の評価と比べ，通る人や場に与える効果はどうか。</p> <p>・ 表現(形や色の工夫・光の生かし方・強度)の変容(修正・進化)は見られるか。</p> </div> <p>○ 学びの高まりを実感できるように他者評価により価値付けられたことを基に，造形的なよさ(表現の工夫，通る人や場への効果，込めた思いの伝わり方)を鑑賞交流する場を設定する。</p>
<p>《期待する児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ「さが」をそれぞれの光のオブジェが生き生きと表現していて，見る人が元気になると思います。 ・ 佐賀のよさを工夫して表現したので，ますます佐賀を好きになってほしいです。 ・ 形や色の面白さを，LEDライトの光を効果的に使って目立たせています。 ・ 1つ1つのオブジェのよさと，集合したライトファンタジー・アートとしてのよさの両方を味わえるところがいいと思います。 	<p>◆ 点灯したライトファンタジー・アートを見たり，他者評価を基に思考・判断したことを話し合ったりして，表現のよさや思いを感じ取ろうとしているか。【発言・ノート・付箋紙】</p> <p>A 他者評価を基に，ライトファンタジー・アートの造形的な表現のよさを3観点全てで根拠をもって感じ取っている。</p> <p>B 他者評価を基に，ライトファンタジー・アートの造形的な表現のよさを2つの観点で根拠をもって感じ取っている。</p> <p>→ 残りの観点について，どのように感じているか尋ねながら造形的な表現よさを見つけてみるように声をかける。</p> <p>C 1つの観点のみでしか，造形的な表現のよさを感じ取っていない。もしくは，よさを感じ取ることができていない。</p> <p>→ ライトファンタジー・アートの目的を尋ね，どんなところにそれが表れているか尋ねる。</p> <p>→ 「学びのアルバム」を活用し，他者評価で価値付けされた表現のよさや，修正・進化した表現を教師と共に見つける。</p>
<p>4 題材を振り返り，どのような学びができたか，表現と評価の変容を基に自己評価・分析をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《予想される児童の意識》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライトファンタジー・アートで，佐賀の町を元気にすることができた。 ・ 屋外に展示することを考えた材料の選び方や接着の仕方を学んだ。 ・ 他者評価してもらうことで，自分たちでは気付かない表現のよさに気付いた。 </div>	<p>○ 本題材の造形活動で得られた達成感を共有化できるよう，他者評価を基に感じ取ったライトファンタジー・アートの造形的なよさや表現の変容を数名発表してもらう。学びの高まりを実感できるように，「学びのアルバム」を活用して題材を振り返り，自己評価・分析するよう促す。</p> <p>○ 共有してほしい本題材での学びを記述していた児童を紹介し，今後の造形活動へ意欲を高めて終わる。</p> <p>※ ライトファンタジー・アートは，10/28（火）に展示会場（エスプラッツ周辺）に設置することを伝え，多くの人に見てもらおうことの喜びを味わわせたい。</p>

